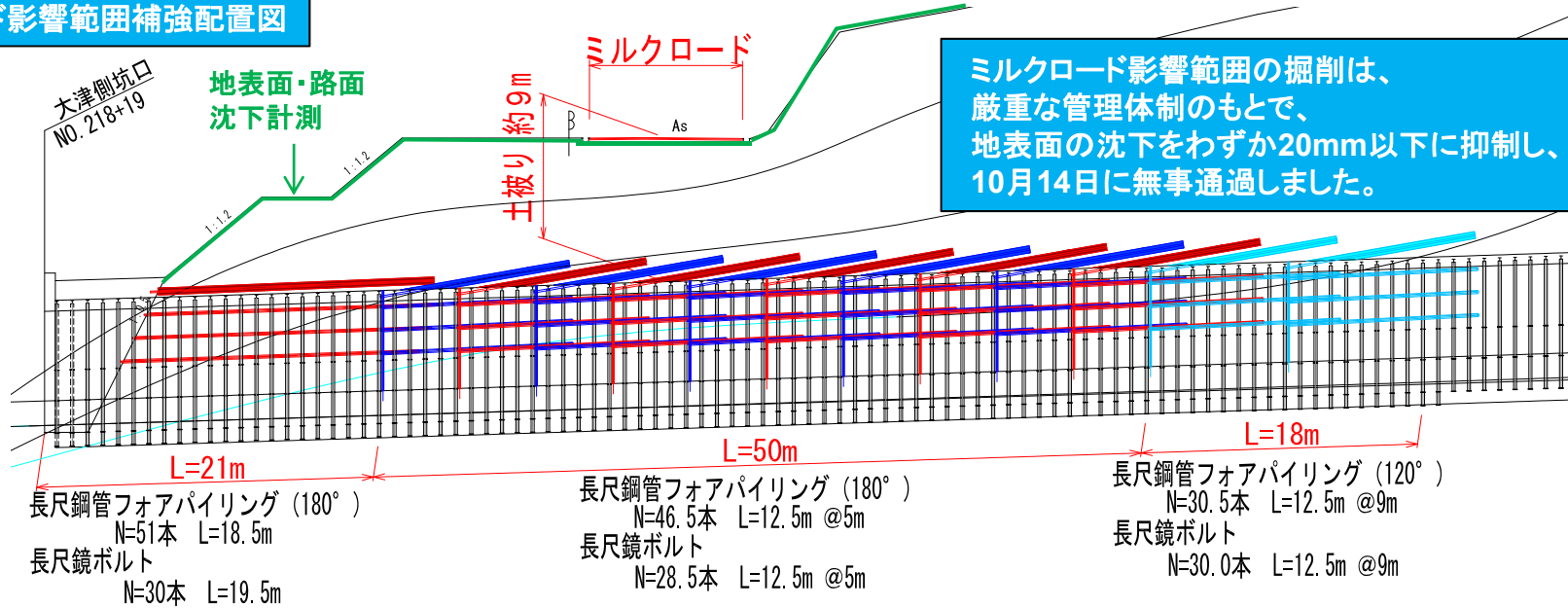


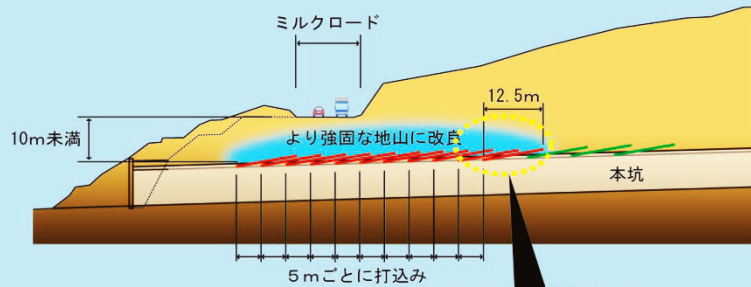
ミルクロード影響範囲の施工方法について

ミルクロード影響範囲補強配置図



ミルクロード影響範囲の掘削は、
 厳重な管理体制のもとで、
 地表面の沈下をわずか20mm以下に抑制し、
 10月14日に無事通過しました。

坑口付近のトンネル上部にはミルクロードが横断していますが、通行止めとなっている国道57号の代替ルートとなっているため、その交通に支障を与えることはできません。特に本坑はトンネル上部と道路面までの距離が10m未満となっており、トンネル掘削にあたり、より強固な地山補強が必要です。



そこで、トンネル掘削箇所の前方に長さ12.5mの鋼管を打込み、そこから薬液を注入して地山を改良します。この作業を掘削が5m進むごとに繰り返すことで、トンネル上方が常に二重の鋼管と薬液で補強された状態でトンネルを掘り進むことが可能となります。このようにミルクロードへの影響を最小限にして安全にトンネルを構築します。

